

ごあいさつ

GREETING



東京都区部
ミニバスケットボール連盟
会長

前田 武士

TOMAS CUP 2019 第35回 東京都区部ミニバスケットボール大会を開催出来ますことは、関係各位皆様のご協力とお力添えの賜物と、衷心より御礼申し上げます。

当大会は東京都23区の代表ならびにコリア選抜チームの男子23チーム女子22チームによって、11月24日(日曜日)、11月30日(土曜日)、12月1日、8日(日曜日)の3週間にわたり開催されることとなりました。

芸術・文化・スポーツ支援活動に積極的に取り組まれておられますリソー教育グループトーマス様には、第24回大会から特別協賛を賜り、大会内容の充実、発展とより良い競技環境での運営に多大なお力を頂戴しています、深く感謝申し上げます。リソー教育グループトーマス様を初めとする協賛各社様、会場の提供ならびに運営を担当いただき、安田学園中学校・高等学校、江東区、葛飾区バスケットボール連盟、練馬区ミニバスケットボール連盟、文京区、墨田区バスケットボール協会、大会運営役員、チームスタッフ、さらにはご父兄の皆様等々、多くの方々のご理解とご協力を得て素晴らしい大会になるよう願っております。

いよいよ「2020年東京オリンピック」が来年開催されます。日本代表男子は、FIBAワールドカップ 2019 アジア地区予選を突破しワールドカップ出場を果たしました。Bリーグで活躍している選手に加え、NBAで1巡指名された八村塁選手や渡邊雄太選手達の活躍によるものです。その活躍を新聞やテレビで見るととても嬉しく思いました。日本代表女子は、アジア4連覇達成。2020年東京オリンピック出場が楽しみです。頑張れ日本！

また、TOMAS CUPに出場した選手達の中から、この先日日本代表選手が生まれたら素晴らしい事だと思います。

各地区の代表選手達が「バスケットボールを通じて、心身の健全な育成を目的とし、併せて日頃の練習の成果を発揮し合うと共に、親睦を深めること、そしてバスケットボールの普及発展を図ること」を主旨に、力の限りのプレーを発揮して欲しいと思います。勝利を目指すと共に、たくさんの友達と信頼・友情・感動を共有されることを期待いたします。

「この大会に参加される一人一人に素敵な思い出が出来ますように！」



株式会社リソー教育
代表取締役社長

平野 滋紀

選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、首都圏のミニバスケットボール大会を「TOMAS CUP」という形で応援し、今年で12回目を迎えます。6年生の皆さんにとっては小学校生活で最後ともいえるこの大会を、毎年このような形で応援することができ、とても嬉しく、また誇りに思います。

選手の皆さんは、この大会参加にいたるまでの練習、トレーニングを通じて、バスケット技術の上達や体力の向上だけでなく、これから生きていくうえでとても大切なフェアプレーの精神やスポーツマンシップをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

私たちリソー教育グループは、学習塾の会社ですが「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。勉強ももちろん大切ですが、習い事やスポーツに打ち込むことも同じように大切です。自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援活動を始めとする社会貢献活動に取り組んでまいります。

ワールドカップでは、男子日本代表の活躍に多くの注目が集まりました。バスケットボール界においても、日本の選手が世界で活躍するということが夢ではなくなってきているなか、今日の一瞬一瞬が皆さんの未来へとつながっています。まずは皆さんのチームの勝利のために、最後の1秒まであきらめることなく、ボールを追い続けゴールを目指してください。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。